

牛深地域景況調査結果の概要(令和5年5月～8月期)

令和5年5月～8月期の景気動向(DI値による判断)

全業種	売上額は上昇傾向であるが景況・採算共に停滞傾向。前期に引き続き材料・仕入単価が全ての業種で大きく悪化している。			
農業・漁業・養殖業	景況・採算ともに順調。今後も順調な見通し。			
卸・小売業	景況・採算ともに悪化。売上高は見通し含めて回復傾向。			
建設・工業	全ての指標において悪化。見通しについても不安。			

※DI値(業況判断指数)について
DI値＝(増加・好転・過大などの回答割合)－(減少・不足・悪化などの回答割合)
景況感や業況判断の方向感を測るための指標です。

DI値	DI ≥ 50	50>DI ≥ 25	25>DI ≥ 0	0>DI ≥ ▲25	DI < ▲25
	特に順調	順調	変わらず	悪化	きわめて悪化

項目別DI値	農業・漁業・養殖業		卸・小売業		飲食・宿泊業		建設・工業		水産加工業		サービス業他		全業種平均	
景況・業況(自社)	66.7		▲67		50.0		▲66.7		0.0		16.7		▲9.1	
採算(利益)水準	66.7		▲66.7		50.0		▲33.3		0.0		0.0		▲6.8	
借入の難度	66.7		0.0		0.0		▲33.3		0.0		33.3		11.4	
従業員水準	▲33.3		0.0		0.0		▲33.3		▲100		▲33.3		▲29.5	
生産・製造設備	0.0		0.0		▲50.0		▲33.3		▲50.0		▲16.7		▲20.5	

※前年比・前年同期(令和4年5～8月)と比較して ※前期比・前期(令和5年1～4月)と比較して ※見通し・次期(令和5年9～12月)の見通し今期(5～8月)と比較して

比較DI値	農業・漁業・養殖業			卸・小売業			飲食・宿泊業			建設・工業			水産加工業			サービス業他			全業種平均		
	前年比	前期比	見通し	前年比	前期比	見通し	前年比	前期比	見通し	前年比	前期比	見通し	前年比	前期比	見通し	前年比	前期比	見通し	前年比	前期比	見通し
売上額	33.3	66.7	100.0	33.3	33.3	0.0	50.0	50.0	0.0	▲66.7	▲33.3	▲33.3	50.0	100.0	50.0	0.0	66.7	▲33.3	6.8	40.9	▲2.0
売上(商品・客)単価	33.3	0.0	▲33.3	33.3	33.3	33.3	50.0	50.0	0.0	▲33.3	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	▲16.7	16.7	▲33.3	9.1	20.5	▲2.0
受注・需要	100.0	66.7	66.7	0.0	0.0	▲33.3	0.0	50.0	0.0	▲66.7	▲33.3	▲33.3	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	4.9	22.0	▲4.0
材料・商品仕入単価	▲33.3	▲66.7	▲66.7	▲100.0	▲100.0	▲100.0	▲50.0	▲50.0	▲50.0	▲100.0	▲66.7	▲66.7	▲100.0	▲100.0	▲100.0	▲33.3	▲16.7	▲33.3	▲68.2	▲61.4	▲66.0
採算(利益)	0.0	▲33.3	66.7	▲66.7	▲66.7	▲66.7	50.0	50.0	0.0	▲66.7	▲66.7	▲33.3	▲50.0	0.0	0.0	0.0	33.3	▲16.7	▲27.3	▲18.2	▲18.0
資金繰り	0.0	0.0	33.3	▲33.3	▲33.3	▲33.3	50.0	50.0	0.0	▲66.7	▲66.7	▲33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	▲11.4	▲11.4	▲12.0
従業員数	50.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	▲16.7	▲16.7	0.0	4.8	▲1.6	0.0

【経営上の課題】

経営課題としては、原材料費の高騰が(22%)と最も高く、続いて燃料費光熱費の高騰(21%)と続き、多くの業種で経費の増加(採算の悪化)が見受けられた。
また、生産設備の不足・老朽化(12%)や従業員確保(9%)を経営課題とした回答の他、物流の2024年問題も今後の課題として挙げられた。

※この調査は牛深商工会議所会員事業所を対象として、牛深地域における景況動向について把握すべく年3回(4か月に一度)実施しております。
調査へのご協力をお願いいたします。

今期の調査は裏面へ⇒